

参考資料 1

戦略核は三本柱から成り立っている。大陸間弾道ミサイル (ICBM)、潜水艦発射弾道ミサイル (SLBM)、戦略爆撃機の3つである。この3つのどれにどれだけの核弾頭搭載能力があるかを米ソで比較したのが下図である。

米ソの戦略兵器と核弾頭数 (1985 年)

	ICBM 搭載	SLBM 搭載	戦略爆撃機搭載	合計
米国	2 1 1 8	5 5 3 6	2 5 2 0	1 0 1 7 4
ソ連	6 4 2 0	2 7 8 7	6 8 0	9 9 8 7

参考資料 2

レイキャビク首脳会談：最終会合前の米ソの立場

	戦略核 10年後の1996年に何を全廃するのか	米国のSDI (新型のミサイル防衛開発構想) への規制	INF (中距離核戦力) 飛距離：1000キロ以上
米国	5年後に戦略核を半減。 10年後に弾道ミサイルを全廃 (爆撃機搭載の巡航ミサイルを温存)	ミサイル防衛を規制する ABM 条約を10年順守。 実験室の外でも、条約の範囲内の研究開発は可能	グローバル・ゼロを当初から提案
ソ連	5年後に戦略核を半減。 10年後に戦略核を全廃	ミサイル防衛を規制する ABM 条約を10年順守。 SDI に関する研究開発は実験室の中に限定	欧州でのゼロを当初提案。 その後、米国案を受け入れ